



## ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

### 1. 平成 25 年 関東地方一級河川の水質現況について

関東地方整備局

河川部

関東地方の一級河川 8 水系 48 河川(国土交通省管理区間)において、平成 25 年に実施した水質調査の結果をとりまとめましたのでお知らせします。

#### 1.【水質調査】

##### (1)関東地方の環境基準の満足状況

◆BOD・COD(生活環境項目)でみた水質では、80 パーセントで環境基準を満足

- ・一級河川(ダム湖・湖沼を含む)で、有機汚濁の代表的な指標である BOD 値又は COD 値が環境基準を満足した調査地点は 159 地点中 127 地点で、全体の約 80 パーセント。平成 24 年と同様であり、長期的には増加傾向。

◆水系別に見た環境基準の満足状況

- ・8 水系のうち、久慈川水系、那珂川水系、多摩川水系、鶴見川水系、相模川水系、富士川水系の 6 水系で、全地点が環境基準を満足。

##### (2)水質の改善状況

◆過去 10 年間の BOD 値でみた水質の改善状況は、「亀の子橋」「秋山川末流」が全国のトップ 5 入り。

- ・水質の改善状況に関し、過去 10 年間の BOD 値の変化でみると、亀の子橋(鶴見川水系鶴見川)で 3.8mg/L の改善[全国 2 位]、秋山川末流(利根川水系渡良瀬川支川秋山川)で 3.2mg/L の改善[全国 4 位]

##### (3)人の健康の保護に関する環境基準の満足状況

◆健康項目(カドミウム等)でみた水質では、全地点・全項目で環境基準を満足

#### 2.【新しい水質指標による調査】

- ・平成 25 年は、小中学校や一般市民から、延べ 862 人の参加を得て、協働により調査を実施。
- ・『人と河川の豊かなふれあいの確保(4 段階)』の視点においては C ランクの地点が約 5 割、『豊かな生態系の確保(4 段階)』の視点においては B ランクの地点が約 5 割、『利用しやすい水質の確保(3 段階)』の視点においては B ランクの地点が約 4 割が最も多いランク。

### 3.【水生生物による水質の簡易調査】

・平成 25 年は、小中学校や一般市民から、延べ 1,190 人の参加を得て、8 水系 27 河川 48 地点で調査を実施。

・判定内容が「I(きれいな水)」・「II(ややきれいな水)」であった地点は 45 地点、全体の約 9 割。

### 4.【微量化学物質に関する調査】

・平成 25 年度は、水質 33 地点、底質 29 地点でダイオキシン類の調査を実施し、水質の 2 地点で環境基準を超過。

### 5.【水質汚濁事故の状況】

・管内での水質汚濁事故の通報件数は 344 件で、平成 24 年よりも 53 件増加。

・原因物質別では、重油・軽油等の油の流出による事故が件数全体の 57 パーセントを占める。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river\\_00000133.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/river_00000133.html)

## 2. 道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)選定結果について

関東地方整備局

道路部

○国土交通省道路局では、道路に関する先進的または斬新な施策について、当該施策を本格実施するにあたり、現地で市民等の参加のもと、効果や影響を確認するため、場所と期間を限定して試行・評価する現地実証実験を公募により平成 11 年度から実施しております。

○平成 26 年度に実験を実施する地域を公募したところ、全国 20 地域から応募がありましたが、これらの案件から 9 地域が選定されました。なお、関東地方整備局管内からは、以下の 2 地域が選定されましたので、お知らせします。

1.簡易道路劣化診断システムの適用化(千葉県柏市)

2.交通結節点での多様な主体の連携による利用者サービスの提供に関する社会実験(東京都渋谷区)

○選定された社会実験については、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000065.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000065.html)

### 3. 重要文化財「日本橋」を洗う ～日本橋の美しさを後世に伝えるために～

名橋「日本橋」保存会  
東京国道事務所

名橋「日本橋」保存会と東京国道事務所は、毎年恒例の「日本橋」橋洗いを実施します。

日本国道路元標がある日本橋の美しさを後世に伝えようと、毎年小さなお子様からお年寄りまで多数の方に参加していただき(今年の参加者は約 1600 名)、ブラシやたわしを使用し日本橋を綺麗にするもので、今回で 44 回目を数えます。

日時:平成 26 年 7 月 27 日(日) 11 時 00 分～14 時 00 分 ※雨天決行

場所:国道 1 号日本橋(中央区日本橋 1 丁目)

参加者:約 1,600 人(予定)

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/toukoku\\_00000163.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/toukoku_00000163.html)

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. 「平成 25 年全国一級河川の水質現況の公表について

国土交通省では、昭和 33 年から一級河川(直轄管理区間)において水質調査を実施しています。この度、平成 25 年の全国一級河川 109 水系における水質状況(※)をとりまとめましたのでお知らせします。

なお、今年から、河川の現況をよりご理解いただくためのパンフレットをホームページに掲載しています。地方整備局及び北海道開発局のパンフレットについても各局のホームページに掲載していますのでご覧ください。

#### 環境基準の達成状況

一級河川(湖沼及び海域を含む)で、有機汚濁の代表的な指標であるBOD値又はCOD値が環境基準を満足した調査地点の割合は90%であった。

#### 水質改善状況

水質改善状況に関し、過去 10 年間にBOD値が大幅に改善されている地点は、太子橋(大和川水系大和川)、亀の子橋(鶴見川水系鶴見川)、遠里小野橋(大和川水系大和川)、秋山川末流(利根川水系秋山川)、浅香新取水口(大和川水系大和川)及び市坪(重信川水系石手川)であった。

#### 水質が良好な河川

一級河川(直轄管理区間)において、年間の平均的な水質(BOD値)が、環境省の定める報告下限値の 0.5mg/ℓである水質が最も良好な地点は、朝日橋(天塩川水系天塩川)、松川橋(阿武隈川水系松川)、調布橋(多摩川水系多摩川)、雄神橋(庄川水系庄川)、千歳橋(狩野川水系狩野川)、熊野大橋(新宮川水系熊野川)、今泉(天神川水系天神川)、重信橋(重信川水系重信川)、古川橋(松浦川水系巖木川)等65地点であった。

直轄管理区間に複数の水質調査地点を有する河川のうち、年間の平均的な水質(BOD値)が最も良好な河川は、尻別川、荒川(阿武隈川水系)、庄川、安倍川、小鴨川、高津川、仁淀川、吉野川、川辺川、五ヶ瀬川の全 10 河川であり、そのBOD値は 0.5 mg/ℓであった。

(※)本資料に掲載している地点以外にも、事業の影響予測や評価のために国土交通省において水質調査を実施している箇所もある。なお、それらの調査結果については、各地方整備局のHP等で公表している。

#### <添付資料>

- |    |                               |             |
|----|-------------------------------|-------------|
| 1. | 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況          | ..... P. 1  |
| 2. | 水質改善状況                        | ..... P. 2  |
| 3. | 水質が良好な地点等                     | ..... P. 3  |
|    | (1)年間の平均的な水質(BOD 値)が良好な地点     |             |
|    | (2)水質調査地点の平均的な水質(BOD 値)が良好な河川 |             |
| 4. | 新しい水質指標による調査結果の概要             | ..... P. 5  |
| 5. | 人の健康の保護に関する環境基準               | ..... P. 8  |
| 6. | ダイオキシン類                       | ..... P. 9  |
| 7. | 水質事故等の状況                      | ..... P. 10 |

※詳細については、下記を参照

○平成 25 年全国一級河川の水質現況

[http://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h25\\_suisitu.html](http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h25_suisitu.html)

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000795.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000795.html)

## 2. 平成 26 年度「長期優良住宅化リフォーム推進事業」評価基準型（補助限度額 200 万円/戸）の提案募集の開始について

「長期優良住宅化リフォーム推進事業」は、インスペクション、性能の向上のためのリフォーム等による住宅ストックの長寿命化を図る優良な取り組みに対し、国が費用の一部を補助する制度です。平成 26 年度事業のうち、下記について提案募集を開始することとしましたのでお知らせします。

内容の詳細については、以下の事務事業者の専用ホームページをご確認下さい。

### 1. 募集する事業の概要

評価基準に基づき、全ての評価項目においてS基準(※)を満たす長期優良住宅化リフォーム  
・補助率 1/3、上限 200 万円/戸

※S基準については下記HPから入手可能な募集要領を参照

### 2. 応募期間

平成 26 年 7 月 18 日(金)～平成 26 年 8 月 20 日(水)18 時(必着)

### 3. その他

平成 26 年 9 月上旬を目処に採択事業を決定する予定です。

※平成 26 年度事業のうち、評価基準型(補助限度額 100 万円)及び、提案型(提案による長期優良住宅化リフォーム)の公募は既に終了しております。

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/house04\\_hh\\_000525.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_000525.html)

### 3. 国土交通省首都直下地震対策計画等の平成 25・26 年度の実施状況及び平成 27 年度の重点対策等の公表について（お知らせ）

国土交通省では、平成 26 年 4 月 1 日に国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画及び首都直下地震対策計画を策定致しました。

この度、両地震に対する対策計画について、平成 25 年・26 年度の実施状況と平成 27 年度の重点対策等を取りまとめましたので、お知らせします。

なお、会議の開催案内については下記をご参照ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000792.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000792.html)

添付資料.

資料1 [国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画\[第 1 版\]平成 25・26 年度の実施状況について](#) (PDF形式:3,128KB)

[国土交通省首都直下地震対策計画\[第 1 版\]平成 25・26 年度の実施状況について](#) (PDF形式:2,181KB)

資料2 [国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画\[第 1 版\]平成 27 年度の重点対策について](#) (PDF形式:103KB)

[国土交通省首都直下地震対策計画\[第 1 版\]平成 27 年度の重点対策について](#) (PDF形式:136KB)

資料3 [平成 26 年度の訓練の予定について](#) (PDF形式:829KB)

参考資料 [首都直下地震における道路啓開の考え方\(案\)](#) (PDF形式:582KB)

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000794.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000794.html)



◆◆地域の動き◆◆

圏央道（相模原愛川IC～高尾山IC）開通に伴う整備効果について

関東地方整備局 相武国道事務所

1. 開通概要

圏央道（首都圏中央連絡自動車道）は、首都圏の道路交通の円滑化・環境改善、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。

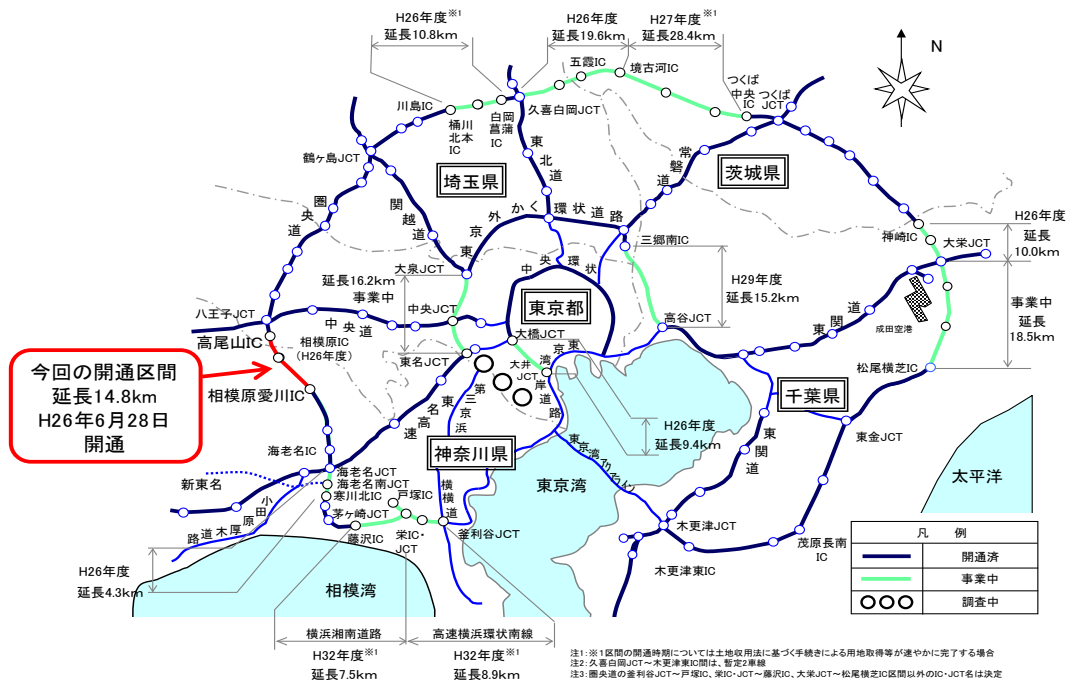


図1 圏央道全体位置図

平成26年6月28日（土）15時に相武国道事務所が担当する圏央道（相模原愛川IC～高尾山IC）延長14.8kmの区間（図1）が開通しました。

引き続き、今年度（平成26年度）開通予定の相模原ICについて整備を進めています。



写真1 6月28日開通式典で通り初めを行う大型トラック



当該区間の事業経緯は、東京都と神奈川県にまたがり、平成9年2月に神奈川県境～高尾山IC間、平成9年6月に相模原愛川IC～東京都県境間が都市計画決定され、平成12年度から用地着手、平成13年度から工事に着手し、都市計画決定から約17年を経て開通することとなりました。

## 2. 整備効果

今回の開通により、東名高速・中央道・関越道がつながり、都心経由や一般道路経由の広域交通が圏央道に転換することにより、環状道路としての機能が発現され、様々な整備効果が期待されています。

広域道路ネットワークの形成として、都心部への通過交通の抑制や圏央道に並行する国道16号・国道129号などの周辺道路の混雑緩和が期待されています。また、物流面への貢献としては、圏央道を利用することを前提として、大規模・高機能な物流拠点が圏央道沿線に多数集積し、貨物の当日配送圏の拡大や広域配送への期待から、大規模・高機能な物流施設（図2）が整備・開設されはじめているところです。

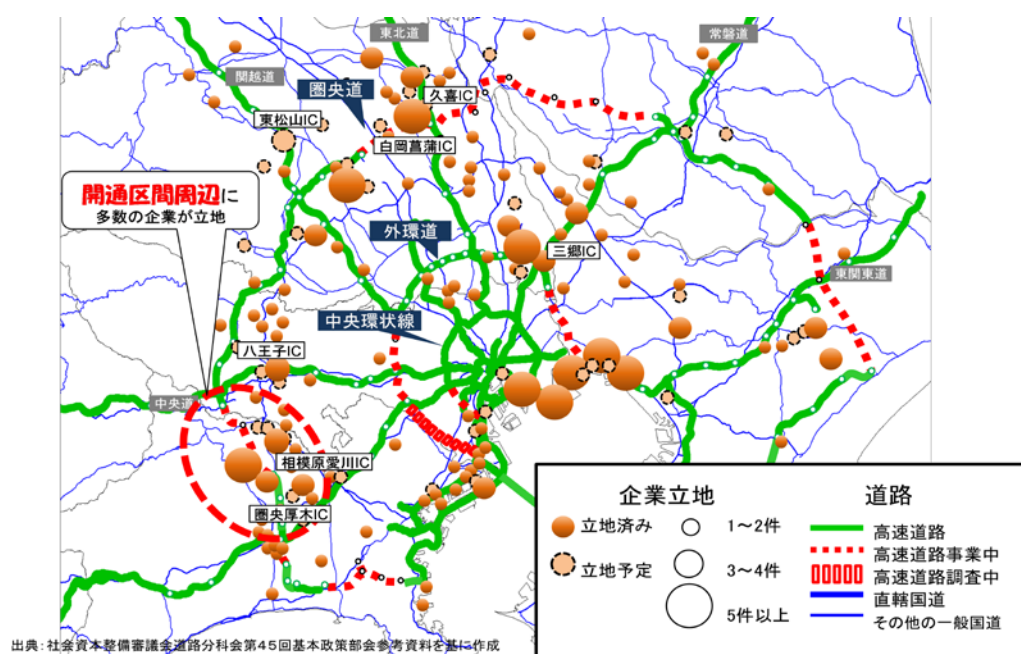


図2 圏央道周辺に立地された大規模・高機能な物流施設

次に観光面では、湘南エリアに2時間以内で行くことができる方が、約300万人増えると想定しており、山梨や群馬から神奈川方面へ、逆に神奈川から山梨・群馬方面への交流が促進され、行動圏域が広くなり各々の観光地での滞在時間が増えるメリットが期待されます。防災面では、災害時の救助・救援や緊急物資輸送を支えるとともに、災害や事故等で一部の経路が通行止めになっても、別の経路を利用して都心部などの目的地へ向かう緊急輸送ルートが約5倍に増加し、緊急輸送道路としての多重性が強化されます。

## 3. おわりに

圏央道（相模原愛川IC～高尾山IC間）開通後一週間の平均交通量速報では、1日あたり約34,000台であり、これまで開通していた隣接区間の交通量についても大幅に増加（圏央厚木IC～相模原愛川IC間は22,400から46,600台/日に増加）しています。

また、圏央道がつながることにより、例えば周辺の物流企業からは、東北や北関東方面への配送に圏央道を使い始めているなどの声を頂いており、更に、新聞では、富岡製糸場など群馬県内を巡る静岡発日帰りツアーの企画にキャンセル待ちが出るほど人気が集まっているなどの報道もされているところです。



写真2 圏央道の開通状況（相模原ICランプ橋から八王子方面を撮影）

今後、圏央道及び周辺の交通状況等を含めた、整備効果を把握するとともに、平成26年度開通予定の相模原IC開通に向けて、事業を進めています。